



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 株式会社 日本トリム 上場取引所 東
 コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）田原 周夫
 問合せ先責任者（役職名）専務執行役員管理本部長（氏名）尾田 虎二郎（TEL）06-6456-4600
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家様向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,361	8.7	1,856	10.1	1,949	10.5	1,306	9.4
2024年3月期中間期	10,452	15.1	1,686	38.1	1,764	36.3	1,193	40.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,470百万円（6.1%） 2024年3月期中間期 1,386百万円（32.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	170.40	—
2024年3月期中間期	155.76	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	32,633	24,409	70.3	2,992.42
2024年3月期	31,544	23,627	70.7	2,911.21

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 22,936百万円 2024年3月期 22,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	95.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.7	3,570	15.9	3,700	14.7	2,470	14.9	322.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	8,656,780株	2024年3月期	8,656,780株
2025年3月期中間期	991,856株	2024年3月期	991,758株
2025年3月期中間期	7,664,985株	2024年3月期中間期	7,665,113株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。当社の電解水素水浄水器は、「胃腸症状の改善」に効果が認められた管理医療機器であり、また、使用する浄水カートリッジは、近年、世界的な環境問題として注目を集めるPFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を除去する性能(*1)を備えており、安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。「社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

(*1)JWPAS B（浄水器協会自主規格）に規定されている試験方法により浄水能力試験を実施。PFASのうち、特に有害性が高いとされるPFOS、PFOAについて、当社浄水カートリッジ全種で除去率80%以上を確認しております（JWPAS B.210試験結果）。

当中間連結会計期間における当社グループの売上高は11,361百万円（前年同期比8.7%増）となり、中間連結会計期間として過去最高となりました。営業利益は1,856百万円（同10.1%増）、経常利益は1,949百万円（同10.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,306百万円（同9.4%増）となり、営業利益、経常利益については中間連結会計期間として過去最高となりました。また、2024年5月14日に公表しました業績予想に対しましては、売上高は中間期業績予想比101.0%、営業利益は同107.9%、経常利益は108.9%、親会社株主に帰属する中間純利益は103.7%と、売上高、利益ともに先行して進捗しております。

当社グループは、2027年3月期連結売上高320億円を目標とし、その実現並びに中長期的な企業価値向上を目指し、以下の3点を重点的に取り組んでおります。

1. 主事業である浄水器販売事業の直接販売部門の量的拡大
2. 浄水器販売事業の卸・OEM部門における海外展開の拡大
3. 世界に先駆けた電解水透析の普及と、保険適用も視野に入れた研究開発等の活動

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

浄水器販売事業では、浄水器売上高が4,871百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

DS事業部（職域販売部門）では、従業員の健康維持・増進に取り組む企業の増加を背景に、説明会開催数は着実に増加しております。健康経営を軸とした提案による企業一括導入や、昨年より注力しておりますスポーツ分野、美容分野への展開が販売効率向上に寄与しており、計画に対して順調に進捗しております。人員増強にも注力した成果が出ており、更なる販売拡大に向けて鋭意取り組んでまいります。HS事業部（取付・紹介販売部門）では一人当たりの販売台数が増加し、SS事業部（店頭催事販売部門）では展示会等の来場者数増加で受注台数が増加するなど、順調に進捗しております。

MS事業部（卸・OEM部門）では、前期に各既存OEM先が実施した顧客向けキャンペーン施策による出荷数大幅増があったため売上高が前年同期比減となりましたが、販売支援強化の効果は着実に出てまいりました。また、国内の新規OEM先の獲得及び海外向け取引の新規代理店獲得に注力しており、下半期以降の稼働に向けて鋭意取り組んでまいります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売につきましては、情報配信や電話によるフォローなど、顧客サービスの強化に努めた結果、売上高2,947百万円（同4.5%増）と、着実に伸長しております。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOの売上高が1,531百万円（前年同期比59.0%増）と引き続き大幅に伸長し、中間連結会計期間として過去最高となりました。前期に続き、当期においてもTVCMやインフルエンサーを起用したSNS広告などのマーケティング施策をさらに強化し、Pristine（プリスティン）のブランド認知度は飛躍的に向上しております。順調に拡大する需要に対応すべく、新工場建設の具体的検討にも入っており、更なる業績の伸長を実現してまいります。

研究開発においては、神戸大学との共同研究講座「エッセンシャルヘルスケア科学共同研究講座」を始め、理化学研究所、東北大学、早稲田大学等と、電解水素水の効果とその機序解明とともに新たな事業シーズ探索を目的とした共同研究を引き続き進めております。

本年10月に、東京大学との共同研究の成果として、新しい電極触媒開発に関する論文が英国王立化学会(Royal Society of Chemistry)が発刊するJournal of Materials Chemistry A 誌(インパクトファクター:10.7(2023年))に掲載されました。

今後、新製品開発のほか、エネルギー分野への事業展開も視野に、高効率な水素製造技術への応用に取り組んでまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は9,943百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は1,641百万円(同10.0%増)となりました。

[医療関連事業]

電解水透析(*2)事業では、本年6月の「第69回日本透析医学会学術集会・総会」に続き、10月開催の第35回日本急性血液浄化学会学術集会、11月開催の第30回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会に出展するなど、精力的に営業活動を展開しております。電解水透析への認知、関心は確実に高まっており、着実に広げてまいります。また、普及促進を目的に、新たな装置開発にも取り組んでまいります。

(*2)電解水透析とは、透析治療で使われる透析液の希釈水を、当社の技術による電解RO水にすることで、透析液に水素を溶存する特性を持たせた次世代新規治療法。世界で初めて溶媒である水の機能に着目した従来にない技術です。通常透析と比べ、治療後の投薬量減少や透析患者の粗死亡率が低いというデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所(東証グロース、証券コード:7096、当社持分72.1%)の中間会計期間の売上高、各段階利益が過去最高となりました。同社は2025年3月期第2四半期(中間期)決算発表を当社と同じく11月12日に実施しておりますので、詳細につきましては同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は1,418百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益は214百万円(同10.5%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産は32,633百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,088百万円増加(前期比3.5%増)いたしました。主な要因は、有価証券が502百万円減少した一方で、現金及び預金が1,699百万円増加したことによるものであります。

負債は8,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ306百万円増加(同3.9%増)いたしました。主な要因は、前受金が193百万円、固定負債のその他に含まれる長期預り保証金が66百万円及び株式報酬引当金が44百万円増加したことによるものであります。

純資産は24,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ781百万円増加(同3.3%増)いたしました。主な要因は、配当により688百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益1,306百万円の計上及び非支配株主持分が159百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月14日「2024年3月期決算短信」にて公表しております。通期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,959,093	15,658,644
受取手形及び売掛金	5,758,101	6,259,326
有価証券	1,302,898	800,000
製品	604,471	625,315
原材料及び貯蔵品	1,064,684	1,078,842
その他	255,646	239,355
貸倒引当金	△25,056	△25,911
流動資産合計	22,919,840	24,635,572
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,579,253	2,582,675
その他(純額)	1,851,348	1,876,784
有形固定資産合計	4,430,601	4,459,460
無形固定資産		
のれん	348,910	330,350
その他	243,763	289,900
無形固定資産合計	592,674	620,251
投資その他の資産		
投資有価証券	1,767,309	1,477,836
その他	1,883,448	1,489,454
貸倒引当金	△49,113	△49,113
投資その他の資産合計	3,601,644	2,918,178
固定資産合計	8,624,920	7,997,889
資産合計	31,544,761	32,633,462
負債の部		
流動負債		
買掛金	550,221	580,777
未払法人税等	740,198	694,225
前受金	3,702,438	3,896,418
賞与引当金	185,000	197,018
製品保証引当金	84,000	89,000
その他	1,368,342	1,353,864
流動負債合計	6,630,202	6,811,304
固定負債		
株式報酬引当金	88,800	133,544
役員退職慰労引当金	299,572	269,430
退職給付に係る負債	407,417	420,906
その他	491,421	588,971
固定負債合計	1,287,211	1,412,853
負債合計	7,917,414	8,224,157

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,823,945	1,823,945
利益剰余金	22,838,855	23,456,657
自己株式	△3,448,320	△3,448,670
株主資本合計	22,207,077	22,824,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,947	△10,323
為替換算調整勘定	49,075	127,734
退職給付に係る調整累計額	△6,603	△5,281
その他の包括利益累計額合計	107,420	112,128
非支配株主持分	1,312,848	1,472,645
純資産合計	23,627,347	24,409,304
負債純資産合計	31,544,761	32,633,462

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,452,775	11,361,310
売上原価	3,082,010	3,383,217
売上総利益	7,370,764	7,978,092
販売費及び一般管理費	5,684,573	6,121,576
営業利益	1,686,191	1,856,516
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,591	25,932
持分法による投資利益	8,514	12,303
不動産賃貸料	41,337	42,008
為替差益	2,865	—
保険解約返戻金	5,305	725
固定資産売却益	15,577	18,043
その他	12,043	5,413
営業外収益合計	99,236	104,425
営業外費用		
支払利息	1,640	787
為替差損	—	428
貸与資産減価償却費	7,217	7,441
貸倒引当金繰入額	300	300
保険解約損	4,758	—
その他	6,824	2,082
営業外費用合計	20,741	11,039
経常利益	1,764,686	1,949,901
特別利益		
固定資産売却益	2,012	—
投資有価証券売却益	22,327	149,274
事務所移転費用戻入益	1,829	—
特別利益合計	26,168	149,274
税金等調整前中間純利益	1,790,855	2,099,176
法人税、住民税及び事業税	587,988	667,663
法人税等調整額	△25,201	△19,664
法人税等合計	562,787	647,998
中間純利益	1,228,068	1,451,177
非支配株主に帰属する中間純利益	34,155	145,051
親会社株主に帰属する中間純利益	1,193,912	1,306,125

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,228,068	1,451,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,638	△101,544
為替換算調整勘定	134,495	118,870
退職給付に係る調整額	406	1,117
持分法適用会社に対する持分相当額	729	1,009
その他の包括利益合計	158,270	19,452
中間包括利益	1,386,338	1,470,630
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,286,059	1,310,834
非支配株主に係る中間包括利益	100,279	159,796

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,790,855	2,099,176
減価償却費	208,740	224,828
のれん償却額	18,559	18,559
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△792	723
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,436	12,017
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	43,300	44,744
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,105	11,765
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,939	△30,141
受取利息及び受取配当金	△13,591	△25,932
支払利息	1,640	787
持分法による投資損益(△は益)	△8,514	△12,303
投資有価証券売却損益(△は益)	△22,327	△149,274
助成金収入	△1,049	—
売上債権の増減額(△は増加)	△398,201	△484,728
棚卸資産の増減額(△は増加)	△60,461	△12,704
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,973	17,404
前受金の増減額(△は減少)	198,362	193,691
未払消費税等の増減額(△は減少)	△63,182	△74,023
その他	276,968	15,032
小計	1,971,814	1,849,623
利息及び配当金の受取額	18,369	30,622
助成金の受取額	1,049	—
利息の支払額	△1,640	△787
法人税等の支払額	△495,857	△703,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,493,735	1,175,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有価証券の償還による収入	—	1,000,000
投資有価証券の取得による支出	△99,900	△400,000
投資有価証券の売却による収入	72,327	203,024
有形固定資産の取得による支出	△227,074	△171,341
有形固定資産の売却による収入	16,243	18,045
無形固定資産の取得による支出	△4,876	△34,513
保険積立金の解約による収入	63,482	—
その他	30,446	8,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,350	1,123,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△970,623	△687,204
その他	△13,927	△15,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△984,550	△702,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,152	102,779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	473,986	1,699,550
現金及び現金同等物の期首残高	12,795,930	13,959,093
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,269,917	15,658,644

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,160,245	1,292,529	10,452,775	—	10,452,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,160,245	1,292,529	10,452,775	—	10,452,775
セグメント利益	1,491,902	194,288	1,686,191	—	1,686,191

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	ウォーター ヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,943,038	1,418,271	11,361,310	—	11,361,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,943,038	1,418,271	11,361,310	—	11,361,310
セグメント利益	1,641,734	214,781	1,856,516	—	1,856,516

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。